

地域がん診療連携拠点病院(特例型)・地域医療支援病院<川崎市立井田病院からのお知らせ>

い だ や ま 第87号 井 田 山

基本理念「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、
市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。」

足爪ドック始めました

井田病院では、令和7年6月から足爪ドックを開始しました。

足爪ドックは、白癬菌(水虫)検査、ABI(動脈血流)検査、タコやウオノメ、巻き爪などの足のトラブルをチェックします。そして、皮膚科医師による検査結果説明とアドバイス、糖尿病看護認定看護師による足のケアとアドバイスを行います。

歩き続けるためには、日ごろから足をいたわり、少しでも異変を見つけたら放置せず、トラブルを未然に防ぐことが大切です。足爪ドック後は、皮膚科で引き続き継続治療も可能です。

足爪ドックは平日の毎週月曜日(完全予約制)の午後2時から実施しています。費用は8,540円です。

ぜひ、この機会に足爪ドックを受けてみませんか。

足爪ドックおすすめポイント

ポイント①


皮膚科医師による
結果説明とアドバイス

ポイント②


看護師による
足のケアとアドバイス

ポイント③


足爪ドック後は、
皮膚科で
継続治療も可能



食中毒に注意！

カンピロバクターによる食中毒は、一年を通じて発生しています。

カンピロバクターは、ニワトリやウシ、ブタ等の腸管内に生息しており、生や生焼けなど加熱が不十分な食肉（特に鶏肉）やレバー（鶏、豚）等を食べることやカンピロバクターで汚染された飲料水を飲むことで感染します。また、犬や猫などのペットもカンピロバクターを保菌していることがあり、ペットに触れた後、食品に触れたり、手洗いが不十分で調理すると感染する可能性もあります。

カンピロバクターに感染すると、比較的少ない菌数（数百個程度）でも腸炎を発症し、発熱、倦怠感、頭痛、吐き気、腹痛、下痢、血便等の症状を起こします。腸炎での死亡率は低いですが、まれに感染後に神経疾患であるギラン・バレー症候群^{注1}を発症することがあります。

注1）急激に手足の筋力が低下し、症状が進行する末梢性の多発性神経炎が数週間持続し、その後、ほとんどの場合は寛解します。カンピロバクター感染も同症候群を誘発する要因の一つとして考えられていますが、その機序等は未解明です。

予防のポイント

1. 鶏肉は中心までしっかり加熱（75℃以上で1分以上）
2. 生肉と他の食材を分けて調理
3. 調理器具や手の洗浄・消毒を徹底
4. 鶏肉は洗わない（水はねによる汚染防止）

特に夏場は発生が増える傾向があるので、注意が必要です



文責：感染対策室

熱中症対策について

例年この話題を担当しているのですが、何を書こうか考えていた時に新しい発見がありました。

それは「日傘」です。これまで直射日光下では日陰を探しながら歩いていました。当たり前ですが日傘を使うと「傘の下は常に日陰」でした。普段日傘を使う習慣のある方は今更と思うでしょうが、じりじりとした直射日光が当たらないだけで体感温度もかなり違いますし日焼けも防げます。最近は突然の雨も多いので晴雨兼用傘を鞆に持ち、是非試してみてください。あとはできるだけ暑い昼間の外出はできるだけ避けましょう。

熱中症は高温多湿な環境下で、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態をさします。高齢になると誰でも暑さやのどの渴きを感じにくくなります。暑さのために発汗し、脱水から熱中症になります。また熱中症で救急搬送された高齢者は屋外より屋内での発症が多くなっています。屋内、夜間でも熱中症に注意が必要です。

そのため熱中症対策のポイントを3つお伝えしたいと思います。

ポイント1

脱水から熱中症にならないようにテーブルや枕元に水筒やペットボトルを置き、のどが渇いていなくても時間を決めて水やお茶などの水分をとりましょう。特に寝る前と夜中トイレに起きた時、起床時はいつもより多めに水分を取って下さい。



ポイント2

体温が上がらないように適切にエアコンを使用しましょう。昼夜を問わず室温が28度以下になるように調節して下さい。電気代は相変わらず高いですが命のほうが大切です。躊躇せずエアコンを使用しましょう。



ポイント3

なんとなく元気がない、ぼーっとする、脱水が疑われる時は市販の経口補水液500mlすべて飲みましょう。症状が改善しない、水分が取れない場合は救急搬送して下さい。



文責：クリティカルケア認定看護師 吉田龍也

新たに導入したダヴィンチについて

ロボット支援化腹腔鏡手術は、2012年に前立腺癌に対して保険適応となつて以来、その良さが広く認識されるようになり、消化器外科領域では2018年から保険適応となりました。

その後、現在まで急速に普及・発展してきております。

消化器外科における大腸癌や胃癌などの手術は、かつては開腹による大きな侵襲を伴っておりましたが、2000年以降、腹腔鏡手術の普及により小さな創部、拡大視野による精密な操作等により、患者の身体的負担を大きく軽減しました。

しかし、腹腔鏡手術には制限もありました。直線的で可動性に乏しい鉗子、それにより理想的な角度でのアプローチが難しいなどです。ロボット手術はそれらを克服するものとなりました。

一つの例として、ロボット手術は、創部は腹腔鏡と同様の小ささですが、関節のある鉗子を自在に操ることで、臓器に対して理想的な角度からの操作が可能になります。その他にも三次元の没入型モニターなど、利点はいくつもあります。

現在手術用ロボットはいくつかのタイプがありますが、当院では世界的に最も普及しているダヴィンチの最新型の機種を昨年12月に導入しております。消化器外科での使用にはいくつかのやや厳しいと思われる条件(症例数や資格の認定など)がありますが、それらをクリアし、当院では本年4月から直腸癌に対して開始しています。

医療の進化がもたらす恩恵を、地域の皆様にも確実にお届けできるよう、今後も努力してまいります。

文責：外科 里舘



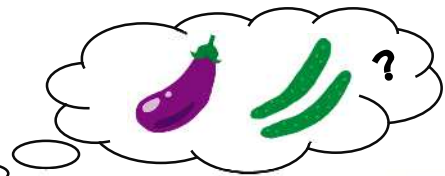
市内産野菜の提供

夏野菜といえばみなさんは何を思い浮かべますか？

食養科では地産地消の取り組みの一環として6月19日(木)に川崎市内産のトマトを暑い季節にさっぱりと三杯酢とあわせて提供しました。

トマトはリコピンをはじめ、ビタミンCやβカロテン、カリウムなど、美容と健康に効果的な栄養素をバランスよく含む食材です。

ヨーロッパでは『トマトが赤くなると医者が青くなる』『1日1個のトマトは医者を遠ざける』などと言われているようです。まだまだ暑い日が続きそうですがトマトを食べて夏を乗り切りましょう！



文責：食養科 亀山

お口の健康をテーマに市民公開講座を開催しました

6月19日（木）に「口は健康の入り口～お口の健康と全身の関係～」をテーマにして歯科口腔外科の木村萌美副医長による市民公開講座を開催しました。木村先生による親しみやすく分かりやすい講義に皆さん熱心に聞き入り、大変好評をいただきました。

当日は、歯周病と全身の健康の関係、歯科検診の大切さ、パタカラ体操（お口まわりのトレーニング）を参加の皆さんと一緒に行うなど、終始なごやかな雰囲気で行われました。

～当日の講座の様子～



今年度は様々なテーマで全8回の市民公開講座を開催いたします。

市民公開講座は申込不要、参加費無料です。

興味のある講座がありましたら皆さん是非ご参加ください。

詳しくは井田病院ホームページでご確認ください。

井田病院ホームページはこちら



（文責：地域医療部）

看護の日のイベントを開催しました！

ナイチンゲールの誕生日である5月12日は、「看護の日」です。井田病院でも、5月13日に、「看護の日」のイベントを開催し、「井田病院の昔と今」のポスターを掲示しました。イベント当日は、患者さんやご家族にカーネーションのお花プレゼントと、看護師によるアロママッサージを行いました。さらに、認知症ケアのひとつとして活用されている認知症マフの実際と、活用方法についても紹介しました。認知症ケアマフとは、手を温かく包むための筒の形をしたニットの小物です。マフの両端から手を入れられるようになっており、マフの中や表面に取り付けられているアクセサリーに触れることで感覚的な刺激を得られます。認知症マフに興味を示される方も多く、「家で作ってみます。」とおっしゃる方もいました。「看護の日」のイベントは、患者さんやご家族、職員みんなの笑顔があふれ、幸せなひとときとなりました。



カーネーション



認知症マフ



（文責：野田浩美 佐藤敏美）

七夕飾り

今年も入院患者さんや外来患者さん、そのご家族をはじめ職員も沢山の短冊を書いてくれました。そのおかげで、正面玄関に設置した笹飾りいっぱい皆さんの願いを飾ることができました。

飾りきれなかった職員の願い事が書かれた短冊は、ボランティアさんの協力を得て模造紙に貼り、2階エレベーターホールに掲示しました。エレベーター待ちの入院患者さんが、職員の願い事を熱心に見ていました。

（文責：看護部 岩本）

